

本部支部一体となって反合同争を闘おう



83. 6. 2

No. 1354

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

5/27 銚子支部職場集會

支部通 信員発

五月二七日、銚子支部職場集會は、運転区講習室において、組合員の勤務以外の九割を結集して、成功裡にかちとられた。
午前十時三〇分、早船支部書記長の司會により開催された集會は、本部から関川委員長をはじめ、吉岡組織部長、片岡教宣部長、市議選で堂々と上位当選をかちとった船橋市議Ⅱ中江昌夫氏、同じく動労千葉の推薦で当選をかちとった銚子市議Ⅱ佐藤新治氏がかけつけ、それぞれ当選のお礼と今後の決意表明がなされた。

支部組合員・家族一体の勝利

宮崎支部長あいさつ

集會の冒頭あいさつに起った宮崎支部長は、昨年十月定期大会以降、中江選挙闘争を中心とした激動の六カ月間闘争の、全組合員の総決起に対する感謝を述べた上で、「八三春闘は今年もストなしで終った。史上最低のベア率で、とくに国鉄は四％という低額回答である。さらに、中曾根内閣の行革の目玉である『国鉄再建監理委員会設置法案』が国会を通過し、いよいよ六月中旬より動き出すというわれわれに直接影響する緊迫した情勢を迎えた。しかしわれわれは、まず何よりも中江闘争を勝利したこと、成田の北原さん、銚子の佐藤さんもそれぞれ当選をかちとったこと。これらの闘いは、支部組合員と家族の皆さん一体となった闘いとして闘いぬいたからこそかちとれたものであり、この勝利をバネにこれからも本部一支部一体となり合理化攻撃Ⅱ「職場規律」攻撃を粉碎していこう」と力強く報告と決意を提起した。

関川委員長、中江船橋市議、佐藤銚子市議がお礼と激励のあいさつ

続いて、本部を代表して関川委員長は、この間、中江選挙闘争に対する、一三〇〇の総決起ととりわけ、銚子支部は、国労・動労「本部」派の中で、動労千葉として、精鋭的に闘ったお礼といま反動中曾根に対決した、成田Ⅱ北原、船橋Ⅱ中江闘争は、反核・反戦をそれぞれ市民に訴えての勝利であり、動労千葉に対する期待票でもある等々、今後力を合せて闘ってほしいとのあいさつがされた。

中江船橋市議は、「選挙闘争の御協力本当にありがとうございます。それも三八九六票という票を獲得した。これは中江ではなく、動労千葉の全組

合員の得票だと思っています。と同時に労働界においても動労千葉に寄せる期待は、相当なものであります。今後も動労千葉の中江として船橋はもとより、千葉県における反中曾根の闘いを全力で闘っていききたい」と結びました。

続いて、佐藤銚子市議は「今回の選挙について国労・動労『本部』といろいろありますが、とくにそのようななかで、動労千葉の推薦をいただき闘っていただき、言葉ではいいつくせない、感無量です。本当にありがとうございます。軍拡を押し進め、右傾化の道を、地方から反対し、同時に地域の自治の姿勢を正していかなければならぬと思います。こうした闘いをもってお礼にかえていきたい」とあいさつされました。

吉岡組織部長が総括と方針を提起

続いて、吉岡組織部長より、①中江選挙闘争の総括、②「6・12デッチ上げ事件」への不当判決家
③動乗勤改悪攻撃、④「職場規律」攻撃を中心とした基調が提起され、全ての支部組合員は、団結をより一層固めて、組合員がこれに真剣に耳を傾け、決意も新たに闘うことを全体で確認した。
昼食後、家族組合結成に向けた論議を中心に進められ、一三時三〇分終了した。
なお、家族組合の結成は、本部方針に基づき、支部執行部が具体的骨子をつくり、全体に提案することを確認し、秋葉副支部長の音頭で団結ガンパローをもって終了した。

カーウル協
春季野球大会
6月2日(木)
9時
A・千葉市公園球場
B・千葉競輪球場

お礼会
釣大会
6月13日(月)
午前4時
君津市三島湖
三島湖釣台前集合

全組の強固な団結を組織破壊攻撃を粉碎せよ！